

会社概要

- **会社名** 株式会社マーベラス
 - **証券コード** 7844
 - **設立** 1997年6月25日
 - **資本金** 1,128百万円
 - **本社所在地** 東京都品川区東品川4丁目12番8号
品川シーサイドイーストタワー
 - **事業内容** オンラインゲームの企画・開発・制作・販売
家庭用ゲームソフトの企画・開発・制作・販売
アミューズメント筐体の企画・開発・運営
音楽・映像コンテンツの企画・制作・販売
劇場演芸の興行
 - **従業員数** 612名(連結) (2017年3月31日現在)
 - **グループ会社** Marvelous USA, Inc.
Marvelous Europe Limited
株式会社ジー・モード
株式会社デルファイサウンド
株式会社HONEY∞PARADE GAMES
- **役員** (2017年6月20日現在)
 - 代表取締役会長 兼 社長 CEO 中山 晴喜
 - 取締役副会長 執行役員 許田 周一
 - 代表取締役副社長 執行役員 COO 泉水 敬
 - 取締役副社長 執行役員 青木 利則
 - 常務取締役 執行役員 松本 慶明
 - 取締役 執行役員 CFO 加藤 征一郎
 - 取締役(社外) 中村 俊一
 - 取締役(社外) 有馬 誠
 - 常勤監査役 名子 俊男
 - 監査役(社外) 小野 忠彦
 - 監査役(社外) 宮崎 尚

株式会社マーベラス

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番8号
品川シーサイドイーストタワー



MARVELOUS!

Business Report

株式会社マーベラス

2017年3月期(第20期)事業報告書
2016年4月1日~2017年3月31日



「多彩なエンターテインメントコンテンツ」を
「あらゆる事業領域」において
「様々なデバイス」向けに展開する

総合エンターテインメント企業

◆◆◆ 経営理念

「驚き」と「感動」を世界に届ける 新しいエンターテインメントの創造

私たちは、あらゆる娯楽の要素を融合させた新しいエンターテインメントの創造により、
世界の人々に「驚き」と「感動」を届ける企業として、誰もが夢見る楽しい未来の創造に貢献します。

◆◆◆ Mission

Excite Our Customers. Create Our Future.

◆◆◆ Vision

世界を驚愕させるコンテンツプロバイダーになる

マルチコンテンツ
多彩なエンターテインメント
コンテンツ

オンライン事業

マルチユース
あらゆる事業領域

コンシューマ事業

音楽映像事業

マルチデバイス
様々なデバイス

Contents

トップメッセージ	02
特集 MARVELOUS! 20年の軌跡	03
トップに聞く	
これまでの20年と今後の展開	05
業績ハイライト	07
事業別の業績と今後の展開	09
マーベラスひろば	13
株式情報	14
会社概要	裏表紙

Top Message トップメッセージ

おかげさまで創業20周年。 企業価値の更なる増大と 次の20年に向けた 持続的成長の達成を目指します。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、「『驚き』と『感動』」を世界に届ける新しいエンターテインメントの創造」を経営理念に掲げ、1997年の創業以来、一貫してエンターテインメントコンテンツの提供にこだわり、一つのジャンルにとらわれない、幅広い分野をカバーする総合エンターテインメント企業として、着実に歩んでまいりました。

2002年、創業5年で経営体制を整えジャスダック市場へ株式を上場、3社経営統合を経た2012年には東京証券取引所市場第一部への上場を果たし、おかげさまで本年6月で創業20周年となります。これもひとえに株主の皆様のご支援とご厚情の賜物と心から感謝申し上げます。

当社の属するエンターテインメント業界は常に目まぐるしく変化し、ユーザー様からのニーズも多種多様にわたっています。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデ

MARVELOUS!



代表取締役会長 兼 社長 CEO
中山 晴喜

バイス」戦略を基軸に、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。この結果、2017年3月期の業績は、売上高29,387百万円と当初の売上予想こそ下回ったものの、営業利益5,754百万円、経常利益5,810百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,165百万円と、各段階利益で過去最高益を達成し、経営統合以来5期連続の増益を達成いたしました。

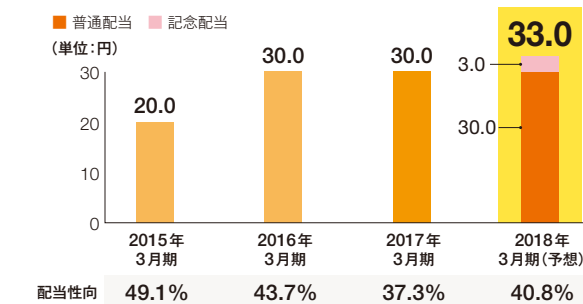
今後も、創業20年で培った総合エンターテインメント企業としての強みを活かし、“マーベラスブランド”の確立による企業価値の更なる増大と次の20年に向けた持続的成長の達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2017年6月 吉日

配当について

当社は、将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。上記方針に基づき、2017年3月期の配当金は30円とさせていただきました。なお、2018年3月期の配当金は、普通配当30円に創業20周年記念配当3円を加えた33円を予定しております。



MARVELOU S! 20年の軌跡

当社は、おかげさまで、今期で20周年となります。
 これからも『「驚き」と「感動」を世界に届ける新しいエンターテインメントの創造』を経営理念に、
 多様なコンテンツを事業のフレームを超えて有機的に展開し、高品質なエンターテインメントコンテンツを供給してまいります。

マーベラス エンターテインメント 設立



ジャスダック市場に上場



東証第二部に上場



AQインタラクティブ、ライブウェアとの経営統合により、
社名を「マーベラスAQL」に



東証第一部に上場

「株式会社 マーベラス」
に社名変更



設立20周年を
迎える



20周年記念 特別サイトのお知らせ

当社では、会社設立20周年を記念して、特設サイトを近日オープンする予定です。特設サイトでは、以下のコンテンツ掲載を予定しています。

・20周年記念プレゼント

当社マニアッククイズ
および正解者への豪華プレゼント

・20周年記念ムービー

代表コンテンツで構成されたムービーの公開
：

その他にも20周年を記念した特別なコンテンツを用意しておりますので、是非、ご覧ください。

20周年記念特別サイト



※サイトのデザインはイメージです。



<https://www.marv.jp/anniv/20th/>

※サイトの公開は当社HP上でお知らせいたします。

音楽事業開始
映像事業開始
家庭用ゲームソフトの発売開始

1997 1998 1999 2002 2005 2011 2012 2014 2017

「たまごっち」
「プリクラ」ブーム

サッカーW杯
日韓共同開催

郵政解散・総選挙

アナログ放送終了

東京スカイツリー、
ソラマチ開業

消費税8%へ

トップに聞く これまでの20年と今後の展開

中山会長 兼 社長 CEOインタビュー

Q. これまでの20年を振り返っていかがでしょうか。

**A. 創業5年で経営体制を整え、株式上場を実現
その後の3社経営統合が今日の基盤に**

2002年の株式上場と2011年の3社経営統合が大きな転機でした。

株式の上場は、創業当初の5カ年計画の一つでありましたが、ゲーム音楽のCD商品発売という音楽事業から始め、テレビアニメ作品のビデオ商品販売という映像事業、家庭用ゲームソフト発

売というゲームソフト事業と順調に事業を拡大させることができました。業績を伸ばし安定を保ちつつ社内の経営体制の整備に取り組んだ結果が、2002年のジャスダック市場への株式上場でした。

また、2011年の3社経営統合によって、会社の規模も拡大し、幅広い分野をカバーする総合エンターテインメント企業としての現在の基盤を作ることができました。

この20年で事業を拡大しながら、様々なコンテンツの提供を行ってきましたが、インフラやデバイスにとらわれない、時代の潮流に乗ったコンテンツを創出・育成できる企画力・ノウハウが、今につながる大きな強みになっていると感じています。

Q. 今後の展開についてお聞かせください。

**A. 各セグメントで多種多様なラインナップを用意
縦串と横串の組織力で結実を**

今期リリースするラインナップは、各セグメントとも非常に充実しています。オンライン事業では、自社IPはもちろん、得意分野を持ったアライアンスパートナーとの強力なタッグを組んだタイトルも含め、7本の新作をラインナップしています。また、前期好調だったコンシューマ事業でもアミューズメント部門において、プライズ市場に独創的な新機種を投入します。音楽映像事業でも、主カシリーズをはじめ、新作タイトルを含めた多種多様なラインナップを用意していますので、ご期待ください。

また、創業20年を経て、社内でプロジェクトを完結できる縦串の力に加え、オンライン、コンシューマ、音楽映像の各事業を横串で取り組む機運が熟しました。今後は海外展開も含め、社内での横断プロジェクトのさらなる推進に取り組み、コンテンツビジネスの可能性をますます広げていきたいと思っております。

Q. 株主様へのメッセージをお願いします。

**A. “マーベラスブランド”を確立すべく、
チャレンジ精神を忘れずまい進**

おかげさまで、前期は経営統合以来、5期連続で増益を達成することができました。これもひとえに株主の皆様のご支援、ご鞭撻の賜物と心より御礼申し上げます。今後も独自性、先見性、柔



代表取締役会長 兼 社長 CEO

中山 晴喜

軟性に富んだ企画力で、俊敏にユーザー様の要望に応え、持続的な成長を目指していく所存です。

また、皆様に「マーベラス」という社名を聞いたとき、あるいは「マーベラス」のロゴを見たときに、「いつも何か面白いことにチャレンジしているワクワクさせてくれる会社」というブランドイメージを持っていただけるよう、次の20年に向けた持続的成長を見据え、チャレンジ精神を忘れずに“マーベラスブランド”の確立に注力してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬお引き立てのほど、よろしく御礼申し上げます。



創業20年で培ったマーベラスの総合力

オンライン事業
ネイティブアプリ
ソーシャルゲーム
PCブラウザゲーム

コンシューマ事業
家庭用ゲーム
アミューズメントゲーム

音楽映像事業
CD・DVD・Blu-ray
舞台・ミュージカル興行
配信・番組販売

新タイトル開発

IP価値最大化

戦略的協業

海外展開拡大

多メディア展開

多種多様なラインナップを用意

次の20年に向けた持続的成長

業績ハイライト

(単位:百万円)

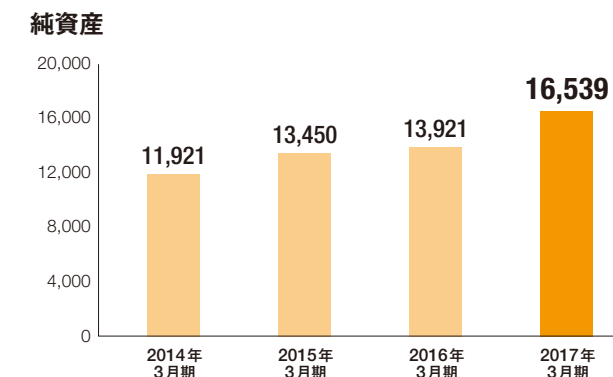
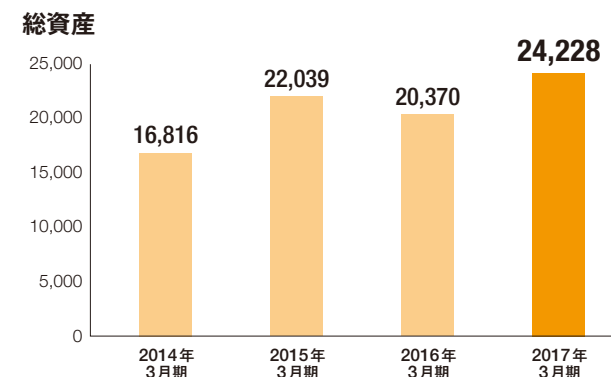
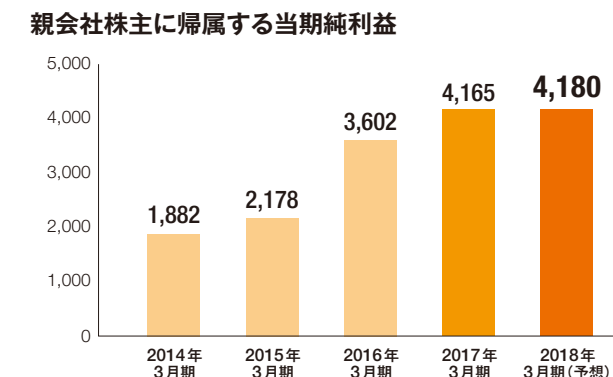
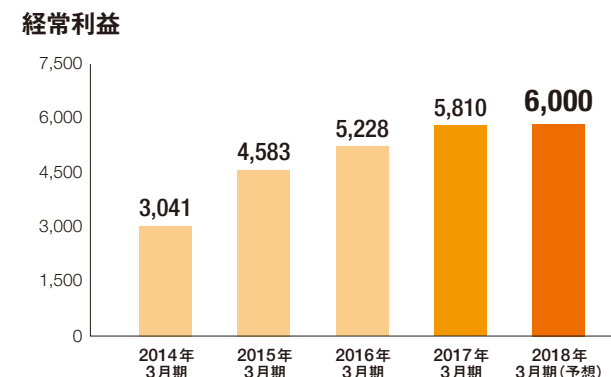
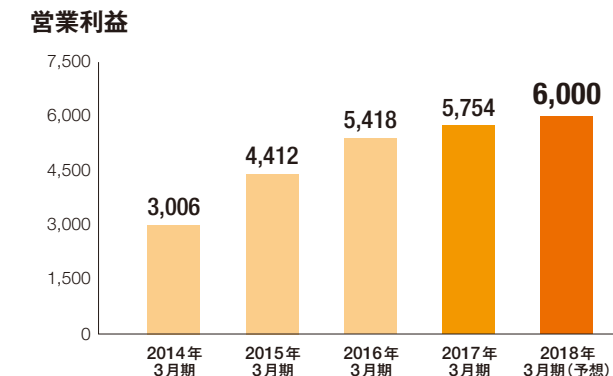
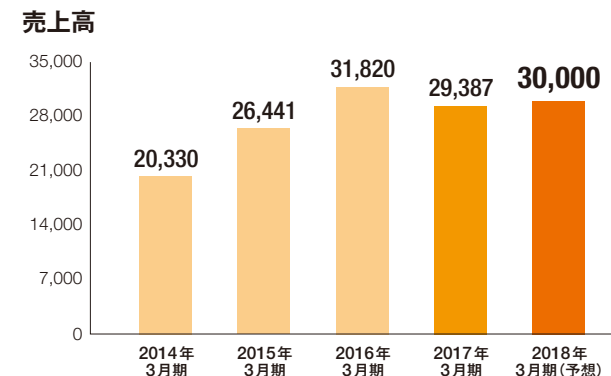
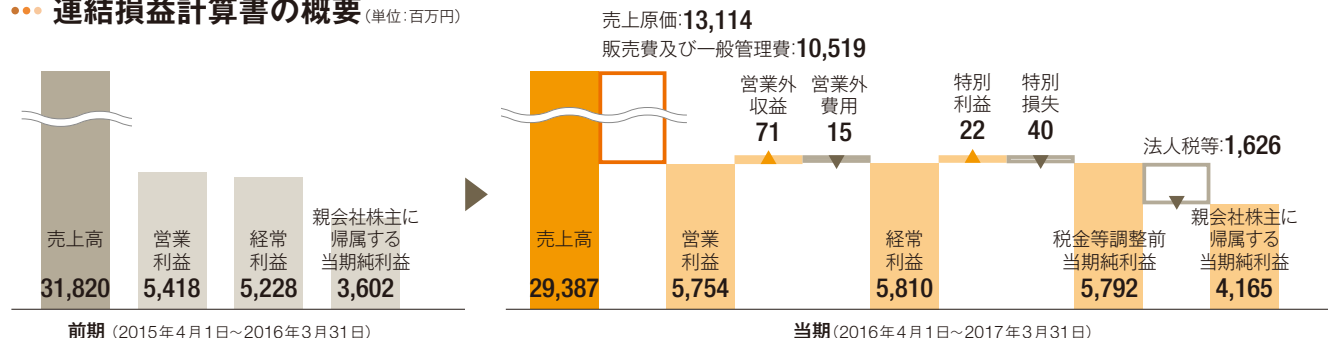


01 当社の強みである3事業のポートフォリオが功を奏し、過去最高益を達成。
 オンライン事業が当初の想定を下回ったものの、コンシューマ事業と音楽映像事業が好調に推移し、各段階利益とも増益となり、過去最高益を達成しました。

02 好調なコンシューマ事業はセグメント利益が倍増。音楽映像事業も引き続き好調。
 国内ゲームソフト販売が好調に推移した結果、コンシューマ事業は利益倍増。音楽映像事業も、定番シリーズの収益基盤に、新作のヒットが積み重なり、引き続き増益となりました。

03 次期は、経営統合以来6期連続の増益達成を目指す。
 既存タイトルの堅調維持に努めると共に、強力なパートナー企業とのアライアンス、新たなプラットフォームへの対応、各種海外展開の積極化等により、2018年3月期の業績は、売上高300億円、営業利益60億円、2011年の経営統合より6期連続の増益を目指します。

●● 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



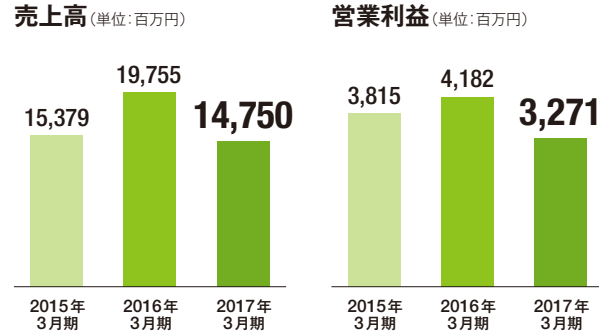
オンライン事業

Online Game Business

多彩なプラットフォーム向け、オリジナルIPや他社有力IPを活用したゲームを企画・開発・制作・販売



2017年3月期
売上高
147 億円
営業利益
32 億円



●● 2017年3月期の実績

新規タイトルの貢献なく減収減益となったもののマーケティングの効率化、不採算タイトルの整理により、利益率改善

- 「剣と魔法のログレス いにしへの女神」は様々な施策、イベント実施により一定水準を堅守
- 新規タイトルの立ち上げが計画通りに進まず、一部タイトルは開発中止

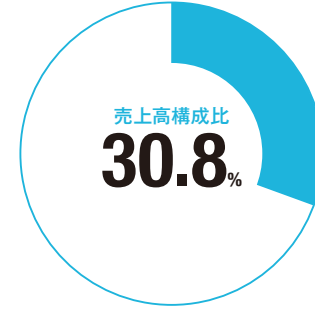
●● 2018年3月期の取り組み

- DMM GAMES様との共同開発・運営タイトル「天歌統一ぶろじょくと」PC版を4月17日よりサービス開始
- アイディアファクトリー様、KADOKAWA様との3社共同プロジェクト「戦刻ナイトブラッド」のゲームアプリを5月29日よりサービス開始
- Fジゲームス様、X JAPANのToshi氏との共同プロジェクト「ORDINAL STRATA (オーディナル ストラータ)」を2017年夏配信予定
- ディ・テクノ様との共同開発・運営によるTVアニメ「おそ松さん」を題材としたゲームアプリ「しま松(仮)」の配信が決定
- 「剣と魔法のログレス いにしへの女神」は英語版の展開を進行

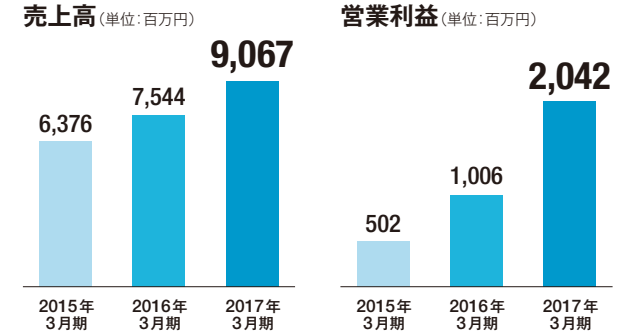
コンシューマ事業

Consumer Game Business

家庭用ゲーム機向けゲームソフト、アミューズメント施設向けゲーム機の企画・開発・制作・販売



2017年3月期
売上高
90 億円
営業利益
20 億円



●● 2017年3月期の実績

新作タイトルのヒットが大きく貢献し増収増益、利益は倍増

- 人気シリーズの新作タイトル「牧場物語 3つの里の大切な友だち」「Fate/EXTELLA (フェイト/エクステラ)」「閃乱カグラ PEACH BEACH SPLASH」がいずれも好調なセールス
- アミューズメントマシンも新型2機種「ドラゴンクエスト モンスターバトルスキャナー」「ポケモンガオーレ」がサービス開始

●● 2018年3月期の取り組み

- 主カシリーズのNintendo Switch版を2タイトル投入
 - ▶ 昨年大ヒットとなった「Fate/EXTELLA (フェイト/エクステラ)」の移植版を7月20日に発売
 - ▶ 人気シリーズ閃乱カグラの新作「シンビリフレ -閃乱カグラ-(仮称)」を2017年内に、ダウンロード専売にて配信開始
- アミューズメント部門はプライズ市場に新機種「トライポッド」を投入
- 「ポケモンレッタ」の東南アジア地域各国での展開を拡大

タイトル展開

剣と魔法のログレス いにしへの女神



©Marvelous Inc. Aiming Inc.

天歌統一ぶろじょくと



©Marvelous Inc. / ©DMM GAMES

戦刻ナイトブラッド



©2017 Marvelous Inc. / KADOKAWA / IDEA FACTORY

タイトル展開

牧場物語 3つの里の大切な友だち



©2016 Marvelous Inc. All Rights Reserved.

閃乱カグラ PEACH BEACH SPLASH



©2017 Marvelous Inc.

Fate/EXTELLA (フェイト/エクステラ)



©TYPE-MOON ©2017 Marvelous Inc. Published outside Japan by XSEED Games/ Marvelous USA, Inc. and Marvelous Europe Ltd.

TRYPOD (トライポッド)



©Marvelous Inc.
※特許出願中。
※LEDリングの光は確率機のような操作はしていません。
※デザインや内容は予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい。

TRYPOD



音楽映像事業

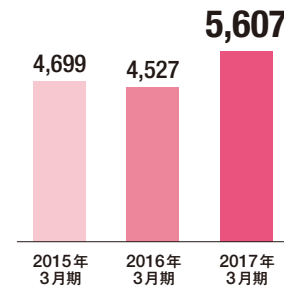
Audio & Visual Business

音楽・映像等多様なコンテンツの企画・プロデュース・制作・販売、及び、舞台・ミュージカルの企画・制作・興行

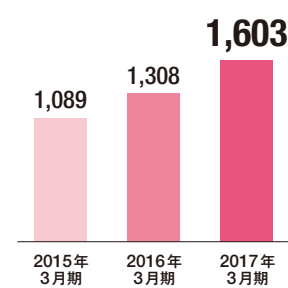


2017年3月期
売上高
56 億円
営業利益
16 億円

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



2017年3月期の実績

堅調な定番シリーズに加え、新作タイトルの好調により、着実な増収増益

- 2つの新作公演「舞台『刀剣乱舞』」、「『あんさんぶるスターズ! オン・ステージ』」が、パッケージ販売も合わせて絶好調
- 「刀剣乱舞」は新作アニメも大ヒット
- 国内外の映像配信を中心とした当社コンテンツの二次利用収入が好調に推移

2018年3月期の取り組み

- 定番シリーズ「プリキュア」「遊戯王」の新シリーズを展開
- アプリゲームとクロスメディア展開する「戦刻ナイトブラッド」のTVアニメを秋より放送開始予定
- TVアニメ「刀剣乱舞-花丸-」「Fate/EXTRA Last Encore」冬より放送開始予定
- 新作舞台『ジョーカー・ゲーム』は満員御礼で好調スタート、話題の新作『B-PROJECT』の公演も7月に予定
- 人気舞台の続編「舞台『刀剣乱舞』義伝 暁の独眼竜」、「舞台『東京喰種トーキョーグール』」第二弾等、続々公演予定

『あんさんぶるスターズ! オン・ステージ』
~Take your marks!~



©2016 Happy Elements K.K./あんスタ製作委員会



©2016 アニメ「刀剣乱舞-花丸-」製作委員会

舞台『ジョーカー・ゲーム』



©榎広司・KADOKAWA /
JOKER GAME ANIMATION PROJECT
© JOKER GAME THE STAGE PROJECT

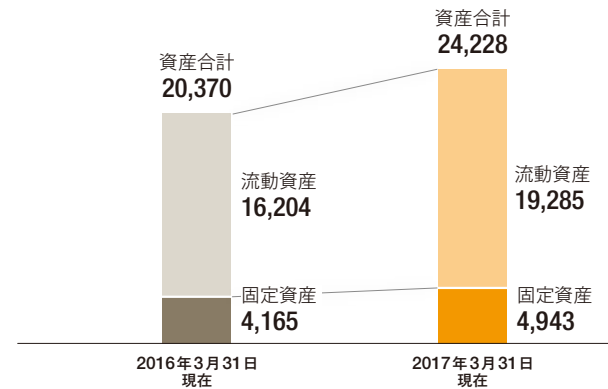
舞台『刀剣乱舞』
義伝 暁の独眼竜



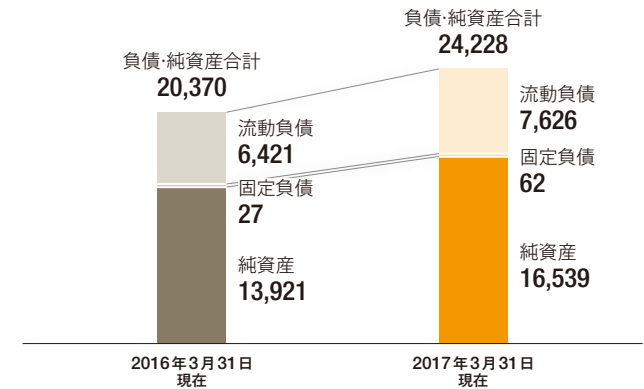
©舞台「刀剣乱舞」製作委員会

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

資産の部



負債・純資産の部



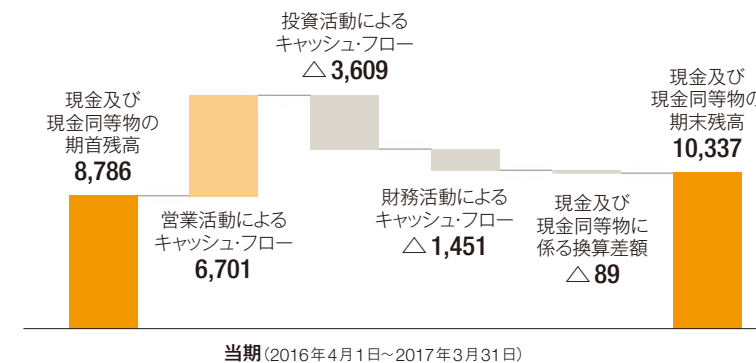
Point

資産残高は、順調な利益計上による現金及び預金の増加等により、前期末に比べ3,858百万円増加し24,228百万円となりました。

Point

純資産も順調な利益計上等により、前期末に比べ2,618百万円増加し、16,539百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



Point

営業CFは純利益の計上等により6,701百万円のプラス、投資CFは主にゲーム開発に伴う固定資産の取得等により3,609百万円のマイナス、財務CFは配当金の支払等により1,451百万円のマイナスとなり、その結果、現金及び現金同等物の期末残高は前期末より1,551百万円増加し、10,337百万円となりました。

マーベラスひろば



株主様と当社のコミュニケーションコーナーです。

「日興アイ・アール
ホームページ充実度ランキング」

最優秀サイト

「Gomez IR サイトランキング」

優秀企業：銅賞

に選定されました



当社ホームページが、日興アイ・アール株式会社が発表する「2016年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、「最優秀サイト」に、モーニングスター株式会社ゴメス・コンサルティング事業部が発表する「Gomez IR サイトランキング2016」で「銅賞」に選定されました。今後もホームページの充実を図り、株主・投資家の皆様にタイムリーで分かりやすい情報発信を目指し、IR活動の向上に取り組んでまいります。

アンケートご協力のお願い

「Business Report」をご覧いただき、誠にありがとうございます。当社では、株主の皆様のご意見を今後の紙面構成やIR活動に反映させるよう努めてまいりたいと考えております。大変お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにてご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

ホームページをリニューアルしました

当社ホームページのデザインを一新し、全面リニューアルいたしました。より多くの方々に当社を理解していただけるよう、画像を多用して直観的に興味を持っていただけるデザインを採用しています。是非ご活用ください。



製品サイト

<https://www.marv.jp/>



企業情報/IR 情報サイト

<https://corp.marv.jp/>



1 必要事項を記入

2 そのままポストに投函(切手不要)

株式情報 (2017年3月31日現在) Stock Information

株式の状況

発行済株式の総数	53,593,100株
株主総数	20,325名

大株主の状況

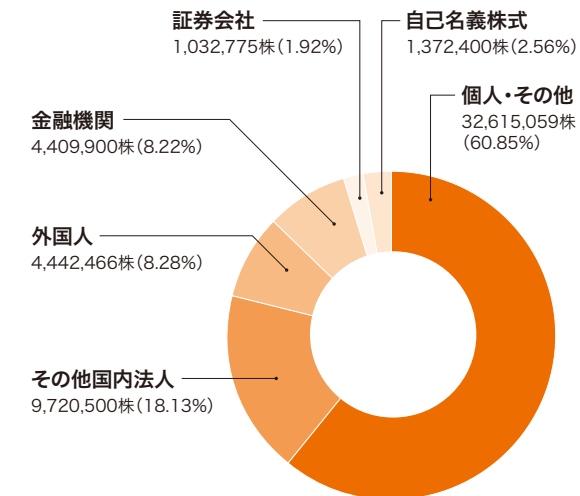
〈株主名〉	〈所有株式数の割合〉
中山 隼雄	18.80%
株式会社アミューズキャピタル	12.83%
中山 晴喜	10.49%
株式会社アミューズキャピタルインベストメント	3.52%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1.63%
株式会社東北新社	1.49%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1.14%
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	0.95%
ジェーピー モルガン チェース バンク 380178	0.93%

※1 持株比率は、自己株式(1,372,400株)を控除して計算しております。
 ※2 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 ※3 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する株式500,000株については、みずほ信託銀行株式会社が同行に委託した「株式給付信託(BBT)」の信託財産であり、その議決権はみずほ信託銀行株式会社が留保しております。
 なお、連結財務諸表においては自己株式として表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	3月31日 (そのほか必要がある場合は 予め公告いたします)
期末配当金受領 株主確定日	3月31日 (なお、中間配当を実施する場合) の株主確定日は9月30日)
公告方式	電子公告により行います。 URL : https://corp.marv.jp/ ただし、電子公告によることができない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

所有者別株式分布状況



※円グラフの数値は小数点以下第3位を切り捨てているため合計が100%にならない場合があります。
 ※株主名簿に記載の所有者区分の通りに記載しております。

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 受付時間	0120-288-324(フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00～17:00
ホームページURL	http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou